

# 紀洋木材 株式会社

## 2018 年度 環境活動レポート

2018年4月～2019年3月



発行日 2007年11月13日  
更新日 2019年7月31日

## □経営理念

自己実現

人格向上

我々は木のぬくもりを通じて  
夢と希望の持てる  
幸せな企業を目指します。

## 経営方針

・安全第一

・時間厳守

・約束厳守

『木のぬくもり』とは

企業として大切にしなければならないものは「ぬくもり」を感じてもらえる事である。

『夢、希望』とは

企業が目指す将来。  
社長が目指す人格向上と自己実現。  
社員が思う理想の生活、仕事、人生。  
その中には「楽しさ」がある。

『幸せ』とは

社員全員の、社員の家族の、関わる皆の、  
そこには「喜び」がある。

「一生懸命」に「強さ」を持つ。

企業、社長、社員が可能な精一杯の精神、行動。

「日本一を目指す」事で「向上心」を持つ

企業として、トップを目指す。  
仕事として、例えば、営業では日本一販売できる営業マン。  
経理では日本一優秀な経理マン。  
そのような人より秀でた自分を目指す。  
人間として、例えば、人格的にも誰もが尊敬できる男性。  
誰もが認める素敵な女性  
それは今の自分ではない、成長している自分を目指す。

「関わった皆」が「共存」していく。

紀洋木材株式会社の社員はもちろん、得意先、仕入先、外注先の人々。  
又、それぞれの家族。  
そして廻りの地域の人々。

全ての人達が共に

「生きていく」

## 紀洋木材 株式会社 環境方針

現在、地球温暖化が大変深刻な問題となり、私達個人もこの問題について考えなければならない時期にきています。地球温暖化の原因のひとつになっております森林伐採の産物である木材製品を販売する会社として、森林資源だけではなく地下資源の枯渇への対応及び、木材製品等の販売事業活動における環境負荷の低減が最重要課題との認識に立ち、全社一丸となり、排出CO2の削減、あらゆる資源の使用量削減に自主的・積極的に取り組み、環境保全活動に勤めます。

### <環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。
  - ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ②廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
  - ③水資源の節水
  - ④グリーン購入（調達）
  - ⑤環境に配慮した製品・サービス

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2007年 11月 13日  
改定日：2012年 06月 28日

代表取締役社長  
桑原 健郎

## □組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

紀洋木材 株式会社

代表取締役社長 桑原 健郎

URL : <http://www.kiyolumber.co.jp>

E-mail : [info@kiyolumber.co.jp](mailto:info@kiyolumber.co.jp)

### (2) 所在地

本 社 大阪府大阪市大正区小林西1丁目16番2号

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 城山 覚 TEL : 06 - 6552 - 6391

担当者 事務部 平尾 久美子 TEL : 06 - 6552 - 6391

担当者 配送部 城山 覚 TEL : 06 - 6552 - 6391

担当者 業務部 岡野 雄貴 TEL : 06 - 6552 - 6391

### (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)

木材製品及び建築資材などの販売

### (5) 事業の規模

製品出荷額 36億円

	本 社
従業員	22名
敷地面積	3038 m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度 4月～3月

## □認証・登録の対象組織・活動

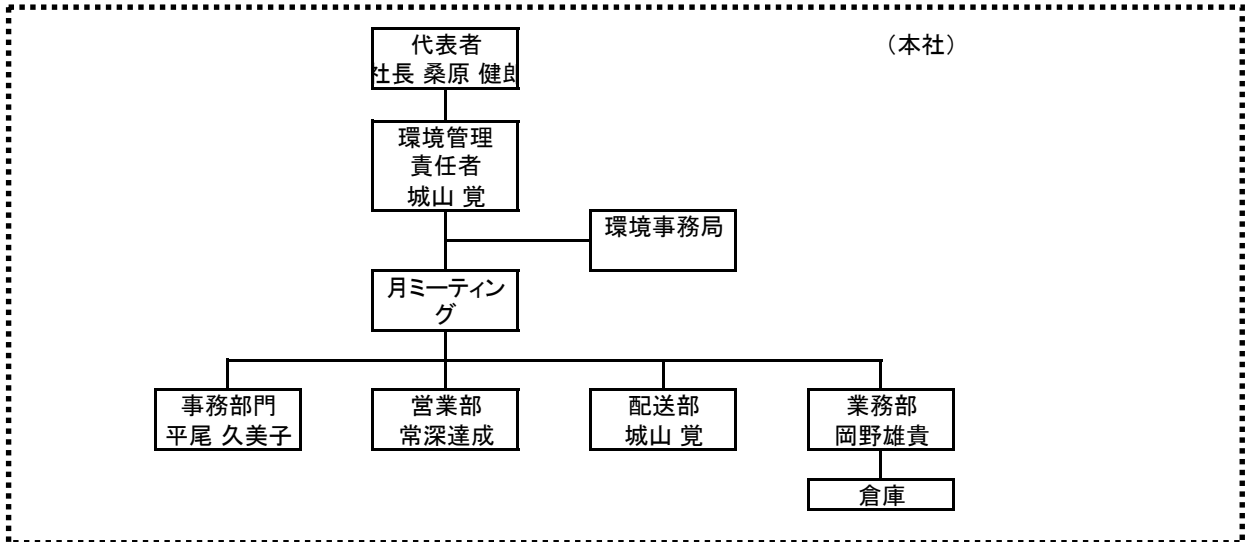
登録組織名 : 紀洋木材 株式会社

対象事業所 : 本社・倉庫

対 象 外 : ナ シ

活 動 : 木材製品及び建築資材などの販売

紀洋木材 株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告・</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>テスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

負荷の自己チェックシートから

項目	単位	2006年	2015年	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO <sub>2</sub>	155,217	158,373	173,589	168,177	167,645
廃棄物排出量	トン	78	1.0	3.3	7.5	6.4
一般廃棄物排出量	トン	78	1.0	3.3	7.5	6.4
産業廃棄物排出量	トン	0	0	0	0	0
総排水量	m <sup>3</sup>	726	848	610	504	201

## □環境目標及びその実績

活動計画から

項目	年度 (基準年度)	2018年		2019年	2020年
		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年度比 2016年	14,464	13,018	14,045	13,018
		90%	97%	90%	90%
燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年度比 2016年	154,193	151,109	153,599	151,109
		98%	100%	98%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	168,657	164,127	167,645	164,127
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比 2016年	3,352	2,346	6,380	2,346
		70%	190%	70%	70%
グリーン購入 (事務用品)	%	—	60%	17%	60%
水道水の削減	m <sup>3</sup> 基準年度比 2016年	610	604	201	598
		99%	33%	98%	97%

※ 電力の二酸化炭素排出量係数は0.531を使用しています。

都市ガス、LNGはCO<sub>2</sub>排出量比3%以下のため目標としていません。

その他、グリーン調達として合法木材の調達、環境に配慮した製品・サービスとして梱包簡素化を目標としています。

## □太陽光発電 発電量 (全量売電)

		2015年	2016年	2017年	2018年
新エネルギー 太陽光発電	kWh	60,658	59,948	60,658	59,246
	MJ	218,369	215,813	220,424	213,286

## □環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
<b>電力の削減</b>		
不要照明の消灯、スイッチの適正管理	○	目標未達成 倉庫昼休み・作業終了時の消灯徹底している。これからも残業削減庫等努力を続けてゆく。
OA機器の点検 (買い替え時の省エネタイプ購入)	○	
冷房28℃ 暖房20℃(室内温度管理に変更)	○	
業務の簡素化をはかり、エネルギーの削減に努める	○	
業務時間の削減	○	
不使用時のPC/電灯の消灯 (昼休み徹底)	○	
待機電気の消灯	○	
<b>燃料の削減</b>		
アイドリングストップ	○	目的未達成 エコドライブについては定着しつつある。売上UPに伴い自社稼働が増加した。今後出来る限りの効率の良い配車を組み、無駄な稼働を減らす。営業車にエコカー、配送には軽自動車、トラックを導入。
急加速・急停車の防止	○	
配送ルート合理化による、使用エネルギーの削減	○	
燃費のよい車の購入	○	
別途計算により燃費 (km/ℓ) 10%削減する	○	
<b>一般廃棄物の削減</b>		
裏紙使用	○	目標未達成。 紙の廃棄はすべてリサイクルに回し削減には成功した。PPバンド等のリサイクルを徹底する。
分別によるリサイクル化 (端材・挽き粉)	○	
木製パレットのリユース	○	
金属くずの分別とリサイクル化	○	
梱包資材の削減 (仕入先に要求)	○	
PPバンド、木屑の計量	○	
<b>木屑の完全リユース</b>		
木屑・ゲタの完全リユース	○	目標達成 今後、リユース出来る物と廃棄物の仕分けを徹底させ、リユース出来る物は出来る限りリユースする。
<b>節水</b>		
節水呼びかけ	○	目標達成 節水意識を今後も浸透させていく。
<b>グリーン購入 (調達)</b>		
合法木材適合品の購入	○	事務用品等の面で購入時に環境に配慮した製品を選ぶ意識が必要。 合法木材を調達比率で管理。
コピー用紙は再生紙を購入	○	
<b>製品への環境配慮</b>		
商品の梱包簡素化	○	目標達成 今後も継続する。
<b>社会貢献</b>		
会社周辺の清掃活動	○	毎朝実施した。 今後も継続する。

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物
消防法	木材の保管
NOx・PM法	車両
顧客要求事項	合法木材・森林保全
ダイオキシン類特別措置法	構造基準を満たした炉の使用
フロン排出抑制法	業務用エアコン

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟、関係機関からの指摘等も過去3年間ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し

- ・環境に配慮する意識を、社員はもとより社外にも広めていく。
- ・3Rの推進を強化する。
  - 廃棄ゲタの再利用
  - PPバンド・紙資源・鉄資源のリサイクル
  - 過剰梱包の削減 など
- ・災害の影響によりおこりうる状況を、より環境を配慮して対応する  
BCPの導入
- ・昨年度の、手順書の見直しをした。
- ・LED照明の本格導入した。



## □環境活動の紹介

### 我が社の取組事例



PPバンド  
再使用できるように、圧着タイプはできるだけ使用しない。



壊れた木製パレット、不良木材をリン木に再使用  
運搬時にも使用している



金属バンド  
外国産木材は金属バンドが多い。  
(海上輸送中の荷崩れを考慮して)  
これを、分別して売却  
金属バンドはパレットに釘などで固定されていて、取り外すのに大変です。運転手が積み込みの暇をみて、取り外し作業をしています。



倉庫屋根の全面に太陽光発電を導入  
2015年2月より49.5kWの太陽光発電が稼働しました。これにより、年間50000kWhの発電が見込まれます。二酸化炭素に換算すると約1.9万kg-CO2となり、自社で使用する電力の全量以上の効果となります。



おがくず袋  
木材再利用のため、切断で発生したおがくずを袋に入れてストックしています。月に2～3袋できます。  
これを床の油とりとして売却しています。  
自動車工場の床掃除に最適です。



#### 測量杭

そりやカビのある角材や板材は測量杭に加工して安く販売します。加工は外注で



倉庫内、外の照明を全面LED化



2019年 7月 18日(水) 大正消防署員の指導のもと 消火訓練を行いました

